

十日町地域 稲作生育速報（令和8年6月18日）

十日町農業普及指導センター・十日町地域農業振興協議会魚沼米振興部会

- 5月下旬移植ほ場でも中干し適期を迎えています。適期を逃さず、開始しましょう。
- 田面に小さなヒビが入り、軽く足跡がつく程度になったら、中干しを終了しましょう。

【水稻の生育状況】 コシヒカリの生育データ（6月18日現在）※（ ）内は指標値比・差

調査地点	育苗様式	田植日	田植後日数	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (葉)	葉色 (SPAD)
十日町 (小黒沢) 標高 150m	稚苗	5/13	36	40 (111%)	551 (134%)	8.4 (-0.3)	38.0 (-1.0)
川西 (上野) 標高 170m	稚苗	5/17	32	33 (92%)	565 (138%)	8.3 (-0.4)	42.4 (+3.4)
松之山 (兎口) 標高 430m	中苗	5/26	23	37 (109%)	228 (95%)	7.9 (+0.4)	37.5 (+0.2)
津南 (米原) 標高 450m	中苗	5/27	22	34 (94%)	251 (78%)	8.4 (±0)	39.6 (-4.4)

【気象予報】 北陸地方の1か月予報（新潟地方気象台6月18日発表）

気温	降水量	日照時間
ほぼ平年並	ほぼ平年並	ほぼ平年並

【今後の管理】

1 中干し・溝切り

- ・開始適期（右表）を逃さず、遅くとも田植え25日後には中干しを開始しましょう。
- ・溝切りは、中干し効果を高めるとともに、迅速にかん水することができるため、確実に実施しましょう。
- ・田面に小さなヒビが入り、軽く足跡がつく程度が、中干し終了の目安です。遅くとも出穂の1か月前までに終了し、間断かん水に移行しましょう。

表 中干し開始時の茎数の目安

(本/m ²)	(本/株)	
	50株植	60株植
210~245	13~16	11~13

※茎数の急増が懸念されるため、目標穂数の6~7割で設定

2 ケイ酸追肥

- ・ケイ酸質肥料を出穂期40~35日前（6月下旬頃）を目安に施用しましょう。根の水分吸収力が向上し、登熟期が高温になった場合も品質低下が軽減されます。

3 病虫害防除

- ・斑点米カメムシ類の発生防止のため、3週間程度の間隔で畦畔の草刈りを行いましょう。（3週間はイネ科雑草が穂をつけないようにするための間隔）
- ・葉いもちの早期発見、早期防除に努めましょう。

十日町農業普及指導センター（作物担当）
TEL 025-757-5516・6061
HP http://www.pref.niigata.lg.jp/tokamachi_nogyo/suito.html



←LINE 水稻情報は
こちらから

こまめな休憩と水分補給で
熱中症を予防しましょう！